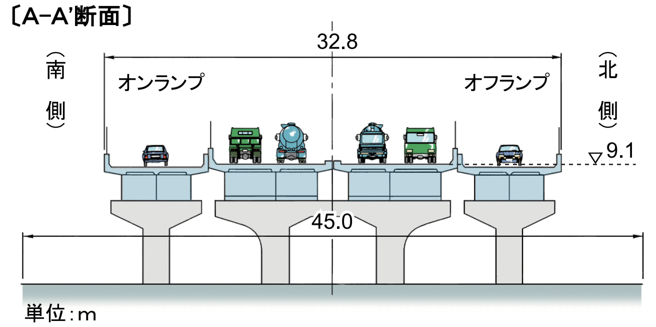
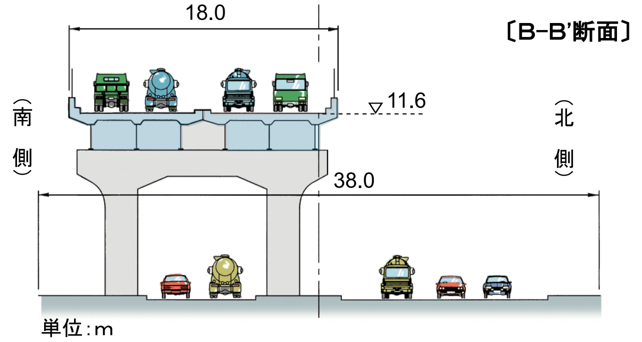
国道2号が変わります。街の交通がスムーズになり沿道の環境が良くなります。

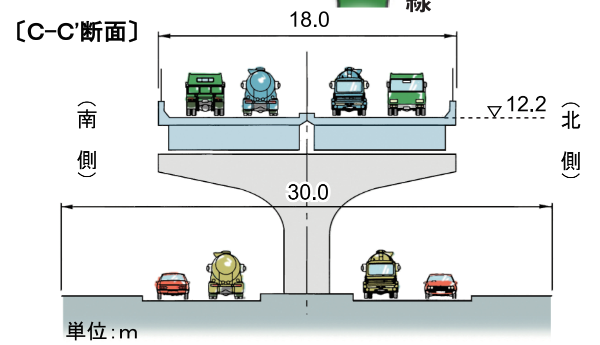
〔A-A'断面〕



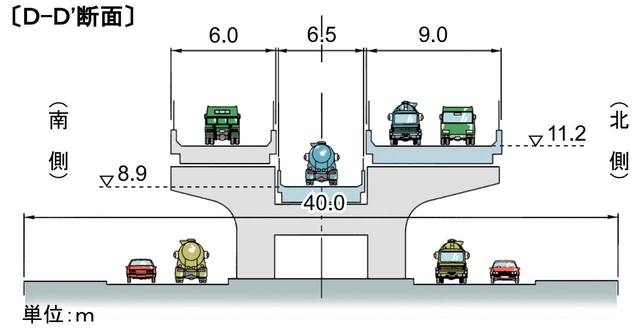
〔B-B'断面〕



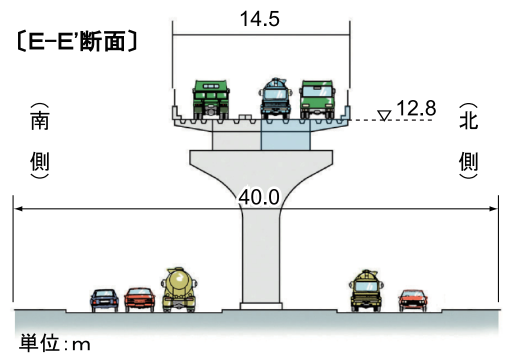
〔C-C'断面〕



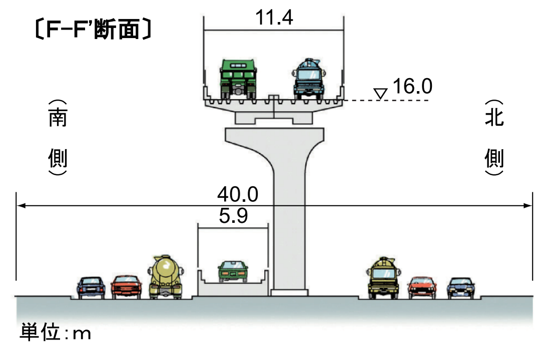
〔D-D'断面〕



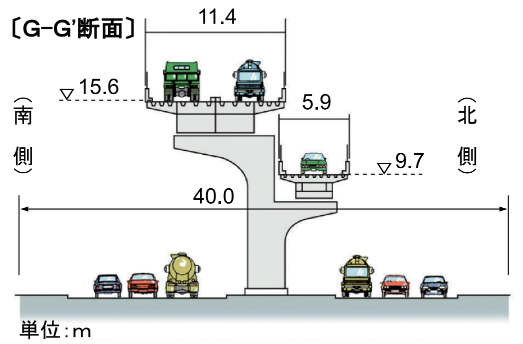
〔E-E'断面〕



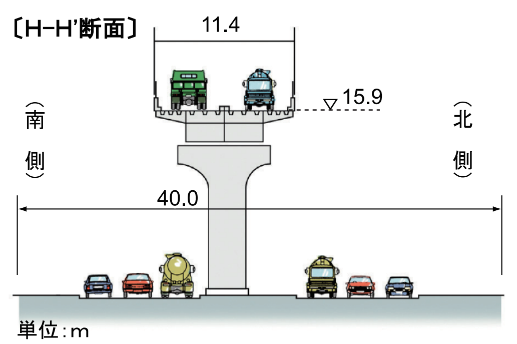
〔F-F'断面〕



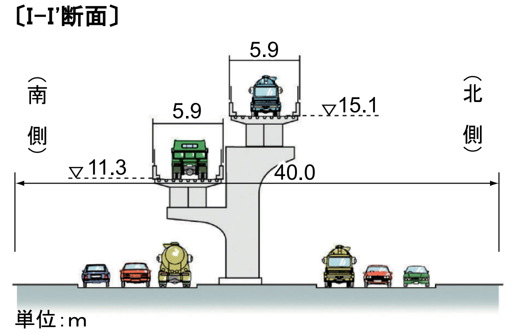
〔G-G'断面〕



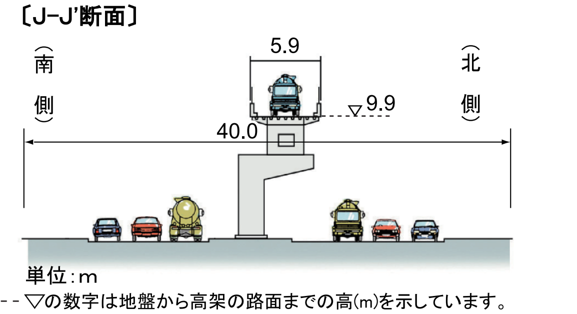
〔H-H'断面〕



〔I-I'断面〕



〔J-J'断面〕



-----▽の数字は地盤から高架の路面までの高(m)を示しています。

今回整備区間における、色彩や付属物等の位置や形状については関係者との協議等により決定します。

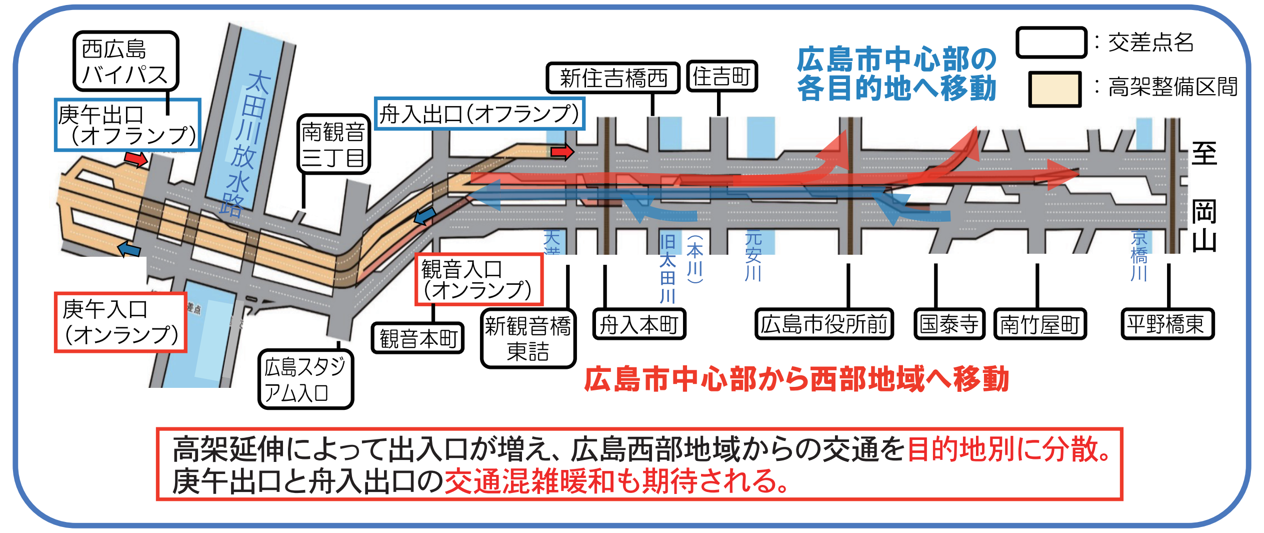
計画概要

名称	一般国道2号西広島バイパス（2号高架）都心部延伸
区間	広島市西区庚午北2丁目～広島市中区平野町
延長	約4.2km（整備区間：L=1.9km　未整備区間：L=2.3km）
車線数	2～4車線
設計速度	60km／h
都市計画決定（変更）	平成6年8月18日（都市計画道路・青崎草津線）
工事経緯	（庚午ランプ～観音ランプ） 昭和46年　工事着手（高架部2/4車線） 昭和49年　開　　通（高架部2/4車線） 平成11年　工事着手（高架部4/4車線） 平成15年　開　　通（高架部4/4車線）

庚午出口付近

舟入出口付近

都心部延伸の構造（イメージ）



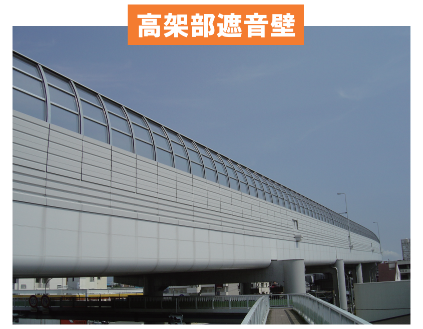
高架延伸によって出入口が増え、広島西部地域からの交通を目的地別に分散。
庚午出口と舟入出口の交通混雑暖和も期待される。

［沿道の環境が現在よりも改善されます。］

沿道の騒音などが少なくなります。また、延伸区間では電線などが地中化されるため、電柱もなくなり、景観がスッキリします。

高架道路をつくれば、平面道路に通行する大型車などを高架道路に転換させることができます。この高架道路に対し、遮音壁、低騒音舗装など、環境をよくするための対策を行うことにより、現在の沿道環境を改善していきます。

高架部遮音壁



高架部に遮音壁を設置することで、騒音を低減させます。

裏面吸音板

高架部の裏面に吸音パネルを設置することで、平面街路部からの騒音を吸収し、反射音を低減させます。

中央分離帯遮音壁

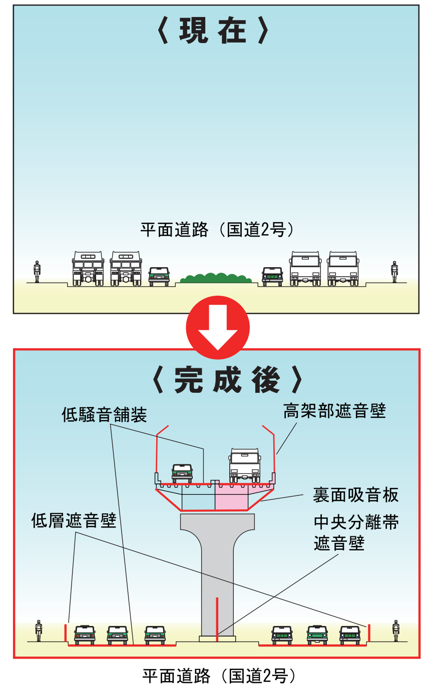
街路部の中央分離帯に遮音壁を設置することで、騒音を低減させます。

低層遮音壁

街路部の歩道に遮音壁を設置することで、騒音を低減させます。

道路構造対策

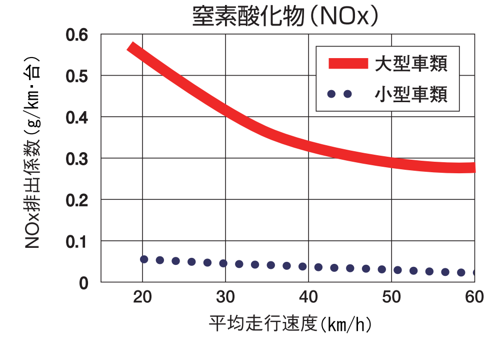
◆沿道環境が改善されるしくみ



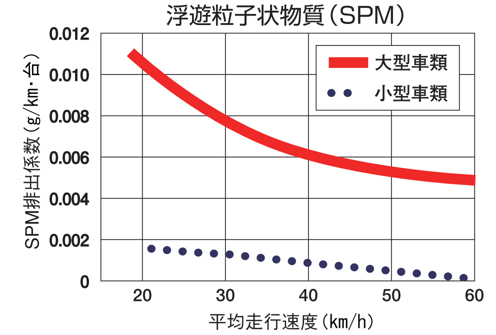
平均走行速度とNOx、SPM排出係数の関係

平均走行速度が上がれば、自動車からの排ガス量は少なくなります。

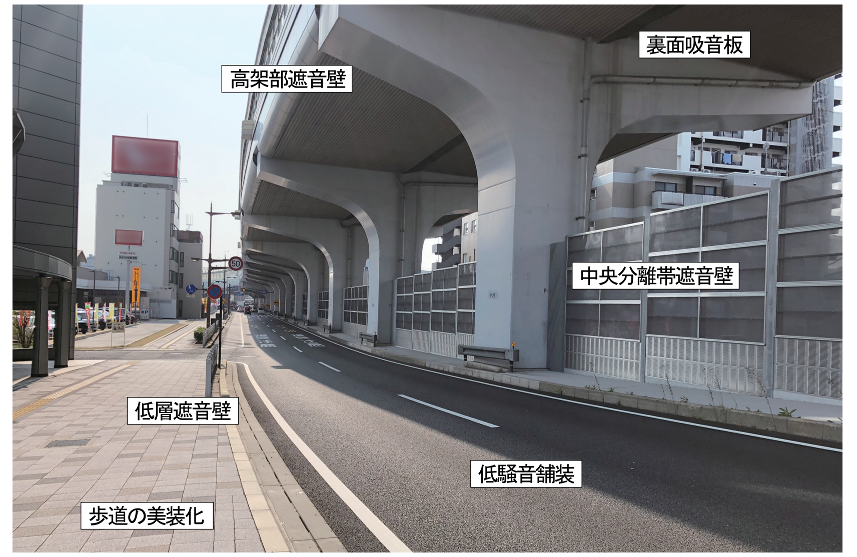
窒素酸化物（NOx）



浮遊粒子状物質（SPM）



◆開通区間状況（南観音町付近）



景観対策

高架部のデザイン	延伸区間においては、下部工の間隔を広げ、開放感のある景観に配慮したデザインとします。また、4車線化区間においては、上部工に景観材を使用し、すっきりとしたデザインとしています。
歩道の美装化	電線類の地中化を行うとともに、歩道部のカラー化、街路灯の美装化等を実施し、景観に配慮した整備を行います。